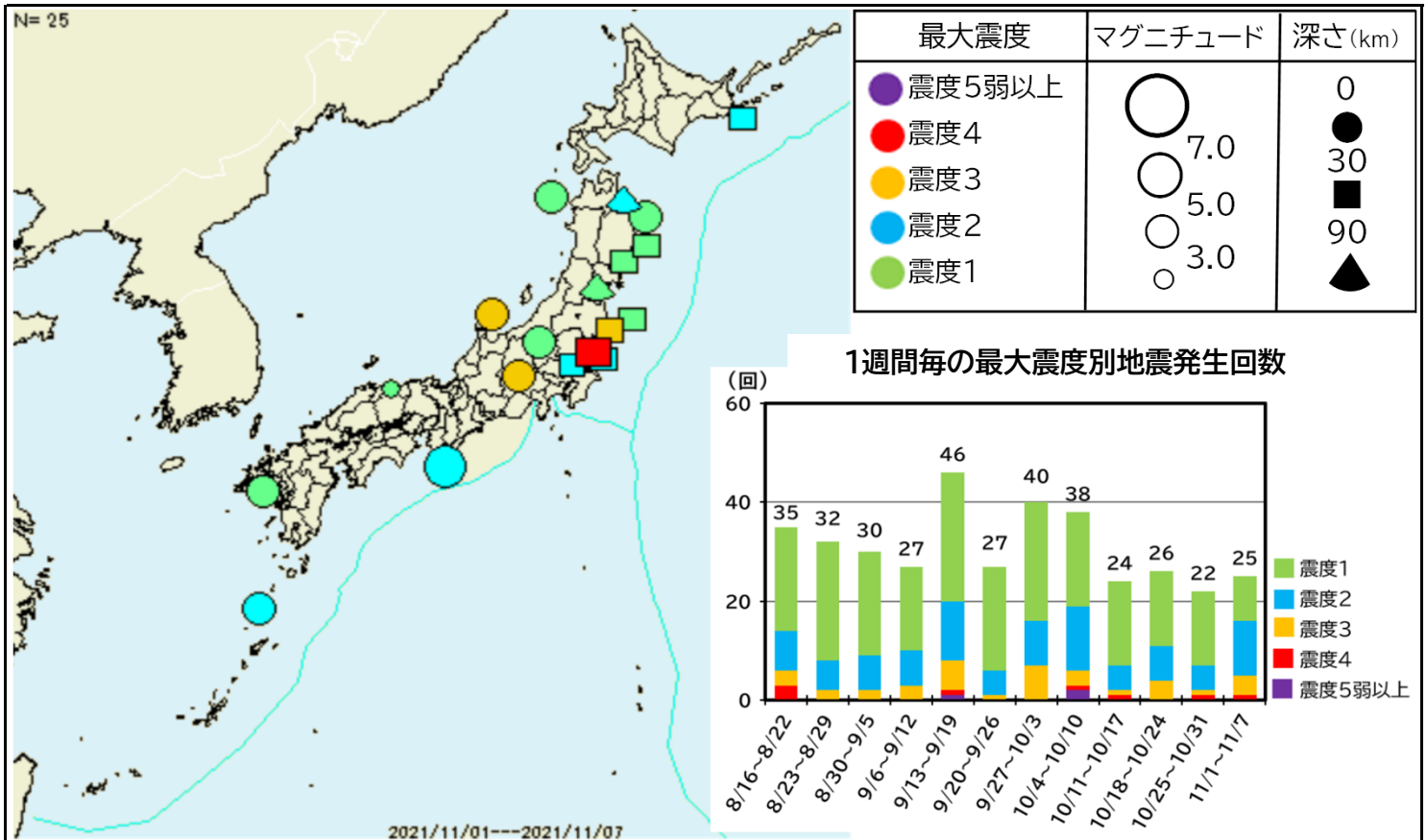


この期間の最大震度は4(茨城県北部)

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況

- この期間、震度1以上の地震が25回発生。最大震度は4(茨城県北部)。 ■
- ・1日06時14分に茨城県北部で発生した地震(M5.3、深さ57km)により、福島県、茨城県及び栃木県で震度4を観測したほか、東北地方から東海地方にかけて震度3~1を観測。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した逆断層型。この付近は定常的に地震活動が活発な所で2020年12月30日にも同じ場所で同じ規模の地震が発生(M5.2、深さ56km)し、水戸市、白河市、益子町などで震度4を観測している。
- ・2日19時06分に能登半島沖で発生した地震(M3.9、深さ13km)により、石川県珠洲市で震度3を観測したほか石川県珠洲市、能登町及び輪島市で震度2~1を観測。この地震は地殻内で発生(トピックス参照)。
- ・3日01時19分に長野県南部で発生した地震(M3.7、深さ16km)により、山梨県北杜市及び長野県伊那市で震度3を観測したほか、群馬県、埼玉県、山梨県及び長野県で震度2~1を観測。この地震は地殻内で発生した横ずれ断層型。

トピックス

■ 能登半島北部の地震続く ■

- ・能登半島北部の地震活動(図1の範囲内)では3年前ごろから震度1に満たない小規模な地震活動が目立つようになり、昨年10月から震度1以上を観測する地震が多くなる傾向がみられるようになった。
- ・昨年10月からの月ごとの震度1以上の回数を図2に示した。7日までに合計63回を数えた。このうち最大の地震は9月16日に発生したM5.1で珠洲市で震度5弱を観測した。
- ・能登半島周辺では、たびたび地震の被害を受けていて、1993(H5)年には今回の震源の北方十数キロでM6.6の地震が発生し約30人が負傷している。
- ・今後どうなるかはの予測はできませんが、室内の倒れやすい家具を固定など、自分で出来る日ごろからの備えはしておきたいところです。

